

緊急速報「エリアメール」の基盤技術が地方発明表彰「発明奨励賞」を受賞

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）が提供する、緊急速報「エリアメール[®]」の基盤機能となる技術（以下、本技術）が、本日、公益社団法人発明協会が主催する令和 5 年度地方発明表彰^{※1}において、発明奨励賞を受賞しました。

本技術は、気象庁や地方自治体などから災害や避難情報を配信（以下、緊急速報）する際、複数の配信情報のなかで、より優先度が高い情報からお客さまに配信するための技術です。本技術は「エリアメール」にとどまらず、移動体通信システムの国際標準化団体 3GPP^{※2} で必須技術として採用され、世界約 20 か国で利用されています。

日本では、地震、台風など、多くの自然災害が発生します。災害発生時に多くの情報が配信されると、緊急で伝えたい避難情報などがお客さまに伝わりにくくなるという課題がありました。そこで、優先度が高い情報を迅速にお客さまに配信することを目的に、本技術の発明に至りました。

ドコモは、今後もお客さまの安心・安全を支えるインフラの実現に向けて、新しい基盤技術の創出に貢献してまいります。

1. 受賞した技術名

初動対応を確保する緊急メール優先制御

2. 本技術の概要

本技術は、緊急速報を配信する際、どの配信情報を優先的に配信するかを制御するものです。通信ネットワークにおいて、緊急速報の配信をする際に、情報配信サーバで配信情報に優先度を設定することで、基地局は優先度が高い情報から携帯端末に配信します。これにより、災害現場近くにいらっしゃるお客さまに対し、緊急にお知らせすべき情報を迅速に配信することが可能となります。



3. 受賞者

株式会社 NTT ドコモ 研究開発センター ※3

西田 克利（にしだ かつとし）

田中 威津馬（たなか いつま）

内山 忠（うちやま ただし）

ウリ アンダルマワンティ ハプサリ

※1 地方発明表彰は、大正 10 年（1921 年）に設立され、全国を 8 地方（北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州）に分けて行われ、実施されている優れた発明、考案又は意匠を生み出した技術者・研究開発者を顕彰するもの

<http://koueki.jiii.or.jp/hyosho/chihatsu/chihatsu.html>

※2 3GPP（スリージーピーピー）：Third Generation Partnership Project。W-CDMA と GSM 発展形ネットワークを基本とする第 3 世代携帯電話（3G）システムおよびそれに続く第 3.9 世代移動通信システムに対応する LTE や、第 4 世代移動通信システムに対応する LTE-Advanced、さらに次の世代である第 5 世代移動通信システムの仕様の検討・作成を行う標準化プロジェクト

本発明は、災害時の情報配信技術である Public Warning System（PWS）の必須技術として採用されている。

※3 受賞者の所属は、本表彰の出願当時のもの

*「エリアメール」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 N T T ドコモ
知的財産部 特許担当
TEL：03-5156-1752